

# 道路運送高度化実施計画 (案)

令和6年 月  
宮城交通(株)

## 目次

1. 道路運送高度化事業を実施する地域 . . . . . 1
2. 道路運送高度化事業の内容 . . . . . 1
3. 道路運送高度化事業の実施予定期間 . . . . . 5
4. 道路運送高度化事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法 . . . 5
5. 道路運送高度化事業の効果 . . . . . 6
6. 道路運送法の特例に係る記載及び書類の添付 . . . . . 6

1. 道路運送高度化事業を実施する地域

(1) EV バスの継続導入

宮城県仙台市

2. 道路運送高度化事業の内容

(1) 導入スケジュール及び台数

年度	2022 年度	2024 年度
台数	1 両	1 両

2022 年度：小型路線 1 両

2024 年度：大型路線 1 両

(2) 導入する車両の情報

メーカー：株式会社 EV モーターズ・ジャパン

車種	大型路線 10.5m	小型路線 6.9m
車両区分	大型	小型
全長(mm)	10,450	6,990
全幅(mm)	2,490	2,105
全高(mm)	3,300	3,100
車両総重量 (kg)	14,570	7,800
ホイールベース(mm)	5,500	4,800
乗車定員(人)	78	29
バッテリー容量(kwh)	210	114
バッテリー種類	リチウムイオン電池	
航続距離(km)	280	290
最高速度(km/h)	80	80
モーター種類	永久磁石同期モーター	
導入予定路線	未定	まちなり「チョコット」

(3) 導入する営業所及び路線

泉営業所野村車庫：仙台市泉区野村字馬場屋敷 5-1

管轄路線名

1. 宮城学院	2. 泉桜ヶ丘	3. 虹の丘団地
4. 加茂長命ヶ丘	5. 泉パークタウン	6. 将監団地
7. 将監ニュータウン	8. 泉ヶ丘大富	9. 南富谷サニータウン
10. 新富谷ガーデンシティ	11. 上桜木大清水	12. 向陽台循環
13. 向陽台	14. 東向陽台	15. 東北学院大学
16. 永和台松森団地	17. 松陵ニュータウン	18. 鶴が丘ニュータウン
19. 鶴が丘松陵	20. イオンモール新利府	21. 泉鶴が丘
22. 仙台港	23. 宮城大学	24. まちのり「チョコット」

2022 年度導入計画

泉営業所野村車庫：まちのり「チョコット」

2024 年度導入計画

泉営業所野村車庫：運行路線は未定

(4) 充電設備の設置場所

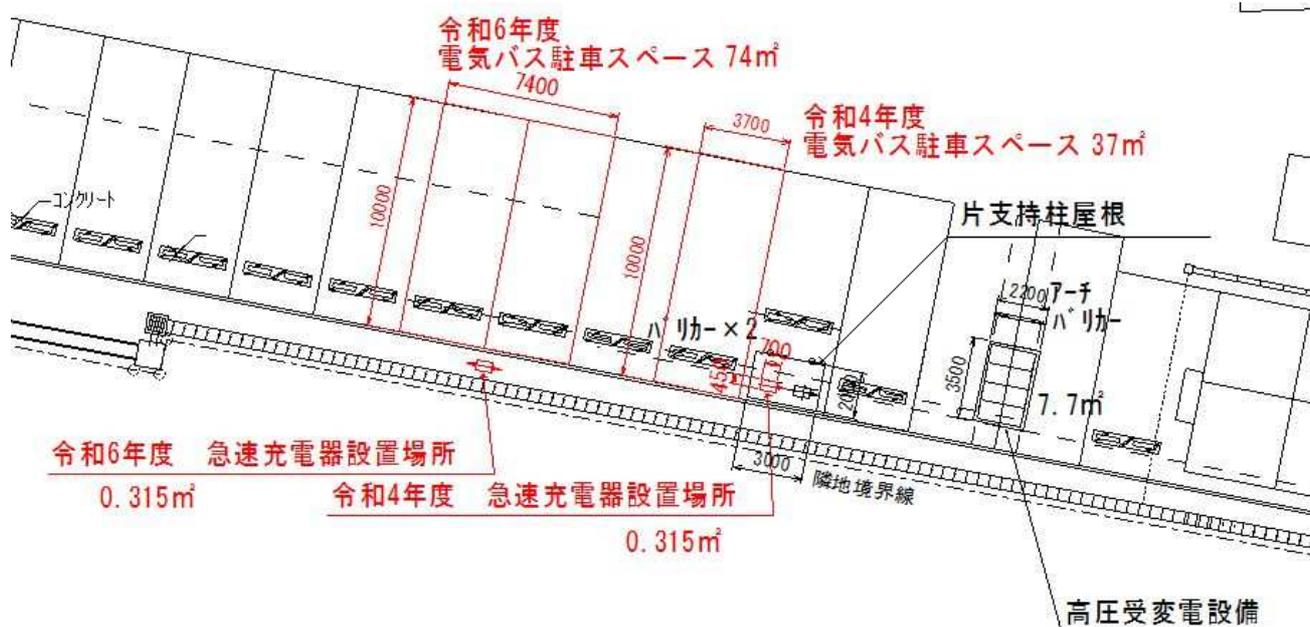
営業所名称	実施時期	受変電設備	充電器	合計口数
泉営業所野村車庫	2022 年 2 月	1 基 新設	ENC-DCL040A-J 新設 1 基	1 口
	2025 年 2 月 予定	-	ENC-DCL040B-J 新設 1 基	2 口

(参考) 泉営業所野村車庫位置図





・泉営業所野村車庫充電器設置図



(7) 充電の用に供する土地

充電機器占有面積  $700\text{mm} \times 450\text{mm} = 0.315\text{m}^2 \times 2 \text{台} = 0.63\text{m}^2$  ①

充電時に要する土地

バス駐車スペース 3 台分  $3700\text{mm} \times 10000\text{mm} = 37\text{m}^2 \times 3 \text{台分} = 111\text{m}^2$  ②

①+② = 111.63m<sup>2</sup>

3. 道路運送高度化事業の実施予定期間

仙台市地域公共交通計画の期間内（令和5年度～令和8年度までの4年間）

【仙台市地域公共交通計画個別施策：⑥公共交通を利用した都心回遊の促進、3）公共交通を利用した回遊のあり方検討：⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備、1）来訪者向け公共交通施策の実施】

4. 道路運送高度化事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

4.1 事業実施に必要な資金の額及び調達方法

年度	2022年度	2024年度
金額	33,500	57,300
国補助	8,533	17,866
自己負担	24,967	39,434

2022年度調達方法

8,533千円 自動車環境総合改善対策費補助金（国）

（内訳：電気バス7,900千円、充電器633千円）

24,967千円 自己資金

EVバスの取得額 31,600千円

充電設備の取得額 1,900千円

計 33,500千円

2024年度調達方法（仮）

17,866千円 自動車環境総合改善対策費補助金（国）

（内訳：電気バス16,366千円、充電器1,500千円）

39,434千円 自己資金

EVバスの取得額 54,300千円

充電設備の取得額 3,000千円

計 57,300千円

4.2 税制特例による減税見込額

・ 泉営業所野村車庫土地面積7,823m<sup>2</sup>、課税標準額130,304,581円、固定資産税1,824,262円

・ EVバス駐車場所（37m<sup>2</sup>）

$130,304,581 \text{円} \div 7,823 \text{m}^2 \times 37 \text{m}^2 = \underline{616,294 \text{円}}$

$1,824,300 \text{円} \times 37 \text{m}^2 / 7,823 \text{m}^2 = \underline{8,628 \text{円}}$

・ 急速充電器設置場所（0.315m<sup>2</sup>）

$130,304,581 \text{円} \div 7,823 \text{m}^2 \times 0.315 \text{m}^2 = \underline{5,247 \text{円}}$

$1,824,300 \text{円} \times 0.315 \text{m}^2 / 7,823 \text{m}^2 = \underline{73 \text{円}}$

- ・急速充電器償却資産税減免額

価格 1,900,000 円 × 減価率 0.84 × 固定資産税率 1.4% = 22,344 円

22,344 円 × 2/3 = 14,896 円

価格 3,000,000 円 × 減価率 0.84 × 固定資産税率 1.4% = 35,280 円

35,280 円 × 2/3 = 23,520 円

#### 2022 年度 電気バス、急速充電器設置分

項目	土地面積	課税標準額	固定資産税減免額	償却資産税減免額
EV バス駐車場所 1 台	37m <sup>2</sup>	616,294 円	8,628 円	—
急速充電器設置場所 1 台	0.315m <sup>2</sup>	5,247 円	73 円	14,896 円

※急速充電器耐用年数 6 年

#### 2024 年度 電気バス、急速充電器設置分

項目	土地面積	課税標準額	固定資産税減免額	償却資産税減免額
EV バス駐車場所 2 台	74m <sup>2</sup>	1,232,588 円	17,256 円	—
急速充電器設置場所 1 台	0.315m <sup>2</sup>	5,247 円	73 円	23,520 円

#### 5. 道路運送高度化事業の効果

- (1) 車内における静穏性が保たれる事により、案内アナウンスなどが聞き取りやすくなるため、旅行者・来訪者に対しても快適な移動ができ、事故防止・安全性の向上に繋がる。
- (2) 優れた加速、減速性能を有するため、車内での転倒防止に繋がり事故防止が図れる。
- (3) 温室効果ガス等の排出量の削減 (CO<sub>2</sub>)

1 両あたり年間削減量 10t (ディーゼルバスと比較し約 50%削減)

ディーゼル車両

車両の年間平均走行距離 24,966 km ①

ディーゼル車両平均燃費 3.08 km/ℓ ②

① ÷ ② 8,106 ℓ / 年 ③ (年間消費軽油量)

③ × 2.62(バス CO<sub>2</sub> 排出係数) 21,238 kg ≒ 21t

EV バス

① ÷ 1.14(1kWh 走行距離当社実測) 21,900kWh/年 ④ (年間消費電力)

④ × 0.000477(東北電力基礎排出係数) 10.45t ≒ 10t

【仙台市地域公共交通計画個別施策：⑦自動運転等新技術の活用の検討、1) 自動運転等新技術の活用の検討、⑫駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化、2) 誰にでも使いやすい移動車両等の導入】

#### 6. 道路運送法の特例に係る記載および書類の添付

特になし